

看護技術総合演習	4 年・前期	1 単位	教授 千明 政好 他
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34111174

1. 授業のねらい・概要

講義・演習・実習での学びを総合的に振り返り、個々の学生が卒業時の到達目標を達成しているか否か演習を通じて確認することで、卒業時の看護実践能力を高めること。

2. 到達目標

1. 卒業時の到達目標が理解できる。
2. 領域毎に設定した複数の看護技術演習をクリアできる。
3. 演習を通して実施した看護技術の振り返りができる。

3. 授業の進め方

領域毎にオムニバスに演習授業を担当し進める。事例により OSCE 等も使用することがある。

4. 授業計画（演習）

1. 卒業時の到達目標および看護技術総合演習授業について（千明政好）	9. 総合演習：母性看護学（西川他）
2. 総合演習：成人看護学（千明他）	10. 総合演習：在宅看護学（石原美由起他）
3. 総合演習：成人看護学（千明他）	11. 総合演習：在宅看護学（石原他）
4. 総合演習：成人看護学（千明他）	12. 総合演習：精神看護学（高橋ゆかり他）
5. 総合演習：成人看護学（千明他）	13. 総合演習：精神看護学（高橋他）
6. 総合演習：小児看護学（宮澤由佳他）	14. 総合演習：老年看護学（石久保雅浩他）
7. 総合演習：小児看護学（宮澤他）	15. 総合演習：老年看護学（石久保他）
8. 総合演習：母性看護学（西川明美他）	

5. 成績評価の方法・基準

技術演習の評価および必要時知識評価、取り組み状況等。

成人 25%、小児・母性・在宅・精神・老年各 15% 合計 100%で評価する。

6. テキスト・参考文献

学習済みである各領域の技術演習に必要な領域毎の教科書および参考書。
必用に応じて指示する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 1 時間の予習及び授業内容について 1 時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項（先修条件がある場合は 8. に記入する）

知識及び技術に関して十分に準備して臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

担当する教員全員が看護師として 10 年から 20 数年の臨床経験を持つ。